



2018年5月11日

各位

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-3
株式会社ビー・エム・エル
代表取締役社長 近藤 健介
(問い合わせ先) 取締役執行役員経営企画部長 武部 憲尚
電話 03-3350-0502

第7次中期経営計画（2018-2020）策定のお知らせ

当社は、この度、2018年度から2020年度までの3カ年を対象とする第7次中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 第6次中期経営計画（2015年度～2017年度）の総括

第6次中期経営計画は、「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」をグループビジョンに掲げ、「業界トップ企業としての基盤構築と強化」のコンセプトのもと、営業基盤の強化、検査基盤の拡充、システム基盤の再構築に取り組んでまいりました。またこれらを支えるものとして、特に人材基盤の充実を最重要項目とし、さまざまな施策を実施してまいりました。その結果「品質・サービスの向上」につつまして、一定の成果をあげることができました。

実績は以下のとおり、売上高につつましては、新規取引先の獲得、および重点検査項目の拡販等、堅調に推移し目標を達成することができました。利益面につつましても、2017年度において、非正規従業員の処遇改善等による人件費の増加、および運送費の増加等があったものの計画を達成することができました。

| | '14年度 実績 | '17年度 計画 | '17年度 実績 | 対'17年度計画 | | 対'14年度実績 | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|----------|--------|----------|-------|
| | | | | 達成額 | 達成率 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 104,404 | 110,900 | 113,502 | 2,602 | 102.3% | 9,098 | 8.7% |
| 検査事業 | 99,382 | 105,710 | 107,765 | 2,055 | 101.9% | 8,383 | 8.4% |
| 臨床検査 | 95,427 | 101,420 | 103,263 | 1,843 | 101.8% | 7,836 | 8.2% |
| その他検査 | 3,955 | 4,290 | 4,502 | 212 | 104.9% | 547 | 13.8% |
| 医療情報システム | 3,607 | 3,790 | 4,101 | 311 | 108.2% | 494 | 13.7% |
| その他事業 | 1,413 | 1,400 | 1,635 | 235 | 116.8% | 222 | 15.7% |
| 営業利益 | 6,974 | 8,850 | 9,337 | 487 | 105.5% | 2,363 | 33.9% |
| 経常利益 | 7,527 | 9,350 | 9,811 | 461 | 104.9% | 2,284 | 30.3% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 3,874 | 5,600 | 5,988 | 388 | 106.9% | 2,114 | 54.6% |

2. 第7次中期経営計画の概要

(1) BML グループビジョン

BMLグループでは第6次中期経営計画から始まる3期（9年間）を中長期的に一貫したグループビジョンのもと、品質・サービスの向上を目指し、事業展開をしていく予定です。従いまして、第7次中期経営計画におきましても引き続き、『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』をグループビジョンとし、この3年間で「成長期」と位置づけております。

(2) 戦略フレームワーク

戦略のフレームワークは、「地域サービスNo.1」「検査ラインナップNo.1」「医療界への貢献No.1」「品質No.1」で構成します。それぞれの具体的内容は以下のとおりです。

① 「地域サービスNo.1」 ⇨ 地域ごとに最適なサービスを提供します

地域ごとの特性を分析し、地域完結型ラボ・首都圏ラボを活用した最適なサービスを提供いたします。また当社の強みである集配のネットワークを更に充実させ、健診事業の獲得にも繋げてまいります。その他、友好民間センター・医師会との関係を強化し、医療関連異業種との連携も図ってまいります。

② 「検査ラインナップNo.1」 ⇨ 新しい検査技術を追求めます

当社の強みである微生物学検査（細菌検査）・病理学検査の検査能力を更に向上してまいります。また、昨年検査体制を強化した造血管疾患関連検査についても重点をおいてまいります。新たな検査項目の開発としては、質量分析装置によるプロテオーム・メタボローム解析、次世代シーケンサーによるヒトゲノム解析に取り組んでまいります。更に東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、ニーズの増加が予測される食品検査事業の拡大を図ってまいります。

③ 「医療界への貢献No.1」 ⇨ 医療界の一員として業界の発展に貢献します

好評をいただいておりますラボトリーフォーラムを拡充してまいります。更に臨床研究へ積極的に関与していくとともに、医療機関向け各種勉強会の実施、各種学術セミナーの開催、学会・シンポジウムへの参画を図ってまいります。その他、医療関連事業への寄付活動、ビー・エム・エル医療教育基金の普及などにも積極的に取り組んでまいります。

④ 「品質No.1」 ⇨ ワンランク上の品質を目指します

第6次中期経営計画でも取り組んできた品質管理について更に高度化してまいります。具体的には、各部門で定量的目標を定めPDC Aサイクルを徹底してまいります。また、ラボエンジニアリング部門を強化し、A I ・ I o Tを活用した業務改革にも取り組んでまいります。その他、部門ごとのQC活動、5 S活動の強化を図るとともに、引き続き人材教育・能力開発を強化してまいります。

⑤ 「経営管理」 以下、5項目を強化します

| | |
|---|--|
| 事業展開 | リスク管理 |
| <ul style="list-style-type: none"> ✓ アライアンスの強化 ✓ 海外臨床検査市場の調査・研究 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ BCPの高度化 ✓ 内部監査の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業/検査/システム/管理 |
| IR活動の充実 | 人事・総務 |
| <ul style="list-style-type: none"> ✓ 適切な経営指標の開示 ✓ 投資家との対話強化 ✓ 安定的な配当政策 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 人事戦略再構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ ダイバーシティ ・ 働き方改革 ✓ コスト削減 |
| ガバナンス | |
| <ul style="list-style-type: none"> ✓ CGCへの適切な対応 ✓ グループシナジーの発揮 | |

(3) 第7次中期経営計画数値目標

| | '17年度 | '18年度 | 増減額 | 増減率 | | (百万円) | | |
|---------------------|---------|---------|-------|-------|---|---------|---------------|-------|
| | | | | | | '20年度 | 対'17年度 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 113,502 | 115,100 | 1,598 | 1.4% | | 120,950 | 7,448 | 6.6% |
| 検査事業 | 107,765 | 109,410 | 1,645 | 1.5% | | 115,090 | 7,325 | 6.8% |
| 臨床検査 | 103,263 | 104,640 | 1,377 | 1.3% | | 109,700 | 6,437 | 6.2% |
| その他検査 | 4,502 | 4,770 | 268 | 6.0% | → | 5,390 | 888 | 19.7% |
| 医療情報システム | 4,101 | 4,190 | 89 | 2.2% | | 4,370 | 269 | 6.6% |
| その他事業 | 1,635 | 1,500 | -135 | -8.3% | | 1,490 | -145 | -8.9% |
| 営業利益 | 9,337 | 9,550 | 213 | 2.3% | | 10,750 | 1,413 | 15.1% |
| 経常利益 | 9,811 | 10,050 | 239 | 2.4% | | 11,200 | 1,389 | 14.2% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 5,988 | 6,130 | 142 | 2.4% | | 6,750 | 762 | 12.7% |

以上